

「都道府県ナースセンターによる看護職の再就業実態調査」

I. 調査概要

1. 調査目的

都道府県ナースセンター^{注1)}を利用して再就業した看護職の就業状況に関する実態把握から、看護職の定着および確保対策や効果的な就業支援を検討するための資料の収集を目的とする。

注1) 調査票では「ナースセンター（ナースバンク）」と記している。

2. 調査期間

平成24年11月15日から12月10日

3. 調査対象

平成21年4月から24年3月までの3年間に、都道府県ナースセンターを利用して常勤、非常勤として再就業した看護職（保健師、助産師、看護師、准看護師）

4. 調査方法

郵送配布・回収による自記式の質問紙調査

5. 回収状況

配布数 17,718件（実配布数16,012件、未着返送数1,706件）

有効回収数 4,833件（回収率30.2%）

II. 回答者属性

回答者数は4,833人、就業状況による内訳は「現在就業している看護職」4,096人（84.8%）、「就業していない看護職」（看護職以外で就業、あるいは離職中）727人（15.0%）、「無回答・不明」10人（0.2%）である。

1. 都道府県・地域（n=4,833）

居住の都道府県は「東京都」10.6%、「北海道」9.8%、「愛知県」6.1%など

居住の地域は「政令指定都市」21.7%、「特別区（東京23区）」6.3%、「市」63.6%、「町村」6.1%

表 都道府県別の回答者数

上段：件数、下段：割合

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
476	38	42	85	58	60	18	102	82	58
9.8	0.8	0.9	1.8	1.2	1.2	0.4	2.1	1.7	1.2
埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
188	128	512	192	45	71	84	101	146	65
3.9	2.6	10.6	4.0	0.9	1.5	1.7	2.1	3.0	1.3
岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
160	269	296	149	37	67	100	45	31	12
3.3	5.6	6.1	3.1	0.8	1.4	2.1	0.9	0.6	0.2
鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
35	20	116	162	64	69	34	74	10	84
0.7	0.4	2.4	3.4	1.3	1.4	0.7	1.5	0.2	1.7
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答・不明	計	
20	102	104	78	58	52	23	11	4,833	
0.4	2.1	2.2	1.6	1.2	1.1	0.5	0.2	100.0	

2. 性別・年齢 (n=4, 833)

性別は「女性」98.3%、「男性」1.4%

年齢は「20代」6.6%、「30代」34.5%、「40代」36.2%、「50代」15.4%、「60代以上」7.0%

3. 看護職免許 (n=4, 833)

「保健師・助産師・看護師」1.6%、「保健師・看護師」13.0%、「助産師・看護師」3.1%、
「看護師」73.1%、「准看護師」8.9%、

4. 通算経験年数 (n=4, 833)

平均14.5年(174か月)

「5年未満」10.1%、「5～10年未満」25.6%、「10～15年未満」24.4%、「15～20年未満」13.8%、
「20～25年未満」9.0%など

5. 看護職として勤務した施設数 (n=4, 823)

平均4.1施設

「1施設」6.0%、「2施設」17.5%、「3施設」21.4%、「4施設」18.1%、「5施設」13.8%、「6施設以上」20.9%

6. 現在就業している施設、あるいは直近に就業していた施設への入職時期 (n=4, 823)

「平成21年」13.1%、「平成22年」22.2%、「平成23年」32.0%、「平成24年」24.3%

7. 現在就業している施設、あるいは直近に就業していた施設種別 (n=4, 823)

「病院」45.4%、「診療所」14.8%、「介護保険施設・事業所」11.1%、「訪問看護ステーション」
5.5%など

8. 現在就業している施設、あるいは直近に就業していた施設での雇用形態 (n=4, 823)

「正規職員(フルタイム勤務)」39.1%、「正規職員(短時間勤務)」3.2%、「正規職員以外」(臨時職員、派遣職員、契約職員、パートタイマー、アルバイト、その他)56.7%

9. 現在就業している施設、あるいは直近に就業していた施設での勤務形態 (n=4, 823)

「日勤のみ」75.1%、「二交代」12.5%、「三交代」4.9%、「オンコール」(自宅など緊急時対応可能な範囲に待機し、呼び出しに応じて勤務につく)1.8%、「当直制」(施設内で待機し、必要時に勤務につく)0.8%など

10. 現在就業している施設、あるいは直近に就業していた施設への入職直前の離職期間

(n=4, 823)

平均31.1か月

「離職期間がない」25.8%、「3か月未満」12.4%、「3～6か月未満」10.8%、「6～12か月未満」
10.8%、「12～24か月未満」10.0%、「24～36か月未満」4.9%、「36～60か月未満」5.7%、
「60か月以上」16.9%

Ⅲ. 調査結果

1. ナースセンター利用者の実態

1) 就業の実態

(1) 看護職として勤務した施設数

現在、就業している看護職（4,096人）が、これまでに勤務した施設数は平均4.2施設であり、6施設以上の施設に勤務した看護職が2割以上（22.4%）を占める。[表1] [統計表12]

表1 看護職として勤務した施設数 [年齢別]

上段:件数、下段:割合

		1施設	2施設	3施設	4施設	5施設	6施設以上	無回答・不明	計	平均(施設数)
年齢	20歳代	15	135	77	27	6	1	1	262	2.5
		5.7	51.5	29.4	10.3	2.3	0.4	0.4	100.0	
	30歳代	42	280	390	296	182	168	16	1,374	3.7
		3.1	20.4	28.4	21.5	13.2	12.2	1.2	100.0	
	40歳代	58	165	301	307	269	439	29	1,568	4.6
		3.7	10.5	19.2	19.6	17.2	28.0	1.8	100.0	
	50歳代	21	66	86	114	100	233	8	628	5.1
		3.3	10.5	13.7	18.2	15.9	37.1	1.3	100.0	
	60歳代以上	32	42	32	34	30	77	9	256	4.5
		12.5	16.4	12.5	13.3	11.7	30.1	3.5	100.0	
	無回答・不明	0	1	3	2	1	0	1	8	3.4
		0.0	12.5	37.5	25.0	12.5	0.0	12.5	100.0	
	計	168	689	889	780	588	918	64	4,096	4.2
		4.1	16.8	21.7	19.0	14.4	22.4	1.6	100.0	

(2) 入職する直前の離職期間

現在の就業先に入職する直前の離職期間は平均31.3か月である。また、現在の就業先に離職期間なく入職した看護職が3割未満（26.2%）にとどまるのに対して、入職直前に離職期間があった看護職の割合は7割以上（71.4%）に上る。

離職期間の平均は正規職員（フルタイム勤務）が16.7か月、正規職員以外が41.4か月と差がある。また、正規職員（フルタイム勤務）では「離職期間なし」が37.2%、正規職員以外では「60か月以上」が24.4%と多くなっていた。[表2] [統計表14]

表2 入職直前の離職期間 [雇用形態別]

上段:件数、下段:割合

		離職期間なし	3か月未満	3か月以上～6か月未満	6か月以上～12か月未満	12か月以上～24か月未満	24か月以上～36か月未満	36か月以上～60か月未満	60か月以上	無回答・不明	計	平均(月)
雇用形態	正規職員(フルタイム勤務)	615	263	200	172	138	53	64	119	30	1,654	16.7
		37.2	15.9	12.1	10.4	8.3	3.2	3.9	7.2	1.8	100.0	
	正規職員(短時間勤務)	32	15	11	19	14	9	7	27	2	136	39.0
		23.5	11.0	8.1	14.0	10.3	6.6	5.1	19.9	1.5	100.0	
	正規職員以外(※1)	427	260	221	232	236	139	166	557	45	2,283	41.4
		18.7	11.4	9.7	10.2	10.3	6.1	7.3	24.4	2.0	100.0	
	無回答・不明	0	0	1	1	0	0	0	2	19	23	59.8
		0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	8.7	82.6	100.0	
計	1,074	538	433	424	388	201	237	705	96	4,096	31.3	
	26.2	13.1	10.6	10.4	9.5	4.9	5.8	17.2	2.3	100.0		

※1 正規職員以外:臨時職員、派遣職員、契約職員、パートタイマー、アルバイト、その他

(3) 離職意向

現在の就業先からの離職を考えている（離職意向）割合は 33.3%であり、3人に1人に上る。「正規職員（フルタイム勤務）」が 34.9%、「正規職員以外」が 32.8%と差はみられないものの、施設種ごとにみると、病院勤務では「正規職員（フルタイム勤務）」38.3%、「正規職員以外」28.6%であり、正規職員の離職意向が高い。また、介護保険施設・事業所勤務の「正規職員（フルタイム勤務）」41.8%、地方自治体勤務の「正規職員以外」41.5%と高い。[表 3、4] [統計表 29]

表 3 離職意向 [雇用形態別]

上段:件数、下段:割合

		現在の就業先からの 離職を考えている	考えていない	無回答・不明	計
雇用 形態	正規職員(フルタイム勤務)	577	1,039	38	1,654
		34.9	62.8	2.3	100.0
	正規職員(短時間勤務)	34	100	2	136
		25.0	73.5	1.5	100.0
	正規職員以外	748	1,481	54	2,283
		32.8	64.9	2.4	100.0
無回答・不明	5	7	11	23	
	21.7	30.4	47.8	100.0	
計		1,364	2,627	105	4,096
		33.3	64.1	2.6	100.0

表 4 離職意向 [施設種別・雇用形態別] (次頁へ続く)

上段:件数、下段:割合

		現在の就業先からの 離職を考えている	考えていない	無回答・不明	計
病院	正規職員(フルタイム勤務)	339	521	24	884
		38.3	58.9	2.7	100.0
	正規職員(短時間勤務)	14	43	1	58
		24.1	74.1	1.7	100.0
	正規職員以外	271	651	24	946
		28.6	68.8	2.5	100.0
診療 所	正規職員(フルタイム勤務)	72	156	4	232
		31.0	67.2	1.7	100.0
	正規職員(短時間勤務)	8	30	0	38
		21.1	78.9	0.0	100.0
	正規職員以外	107	228	5	340
		31.5	67.1	1.5	100.0
介護 保険 施設 事業 所	正規職員(フルタイム勤務)	76	102	4	182
		41.8	56.0	2.2	100.0
	正規職員(短時間勤務)	3	8	1	12
		25.0	66.7	8.3	100.0
	正規職員以外	92	151	14	257
		35.8	58.8	5.4	100.0

表4 離職意向〔施設種別・雇用形態別〕（前頁より続き）

上段：件数、下段：割合

		現在の就業先からの 離職を考えている	考えていない	無回答・不明	計
訪問看護 ステーション	正規職員(フルタイム勤務)	26	71	5	102
		25.5	69.6	4.9	100.0
	正規職員(短時間勤務)	5	6	0	11
		45.5	54.5	0.0	100.0
	正規職員以外	40	88	2	130
		30.8	67.7	1.5	100.0
地方自治体 (※2)	正規職員(フルタイム勤務)	5	21	0	26
		19.2	80.8	0.0	100.0
	正規職員(短時間勤務)	2	5	0	7
		28.6	71.4	0.0	100.0
	正規職員以外	76	104	3	183
		41.5	56.8	1.6	100.0

※2 地方自治体：都道府県・保健所、市区町村・保健センター

(4) 再就業意向

離職を考えている看護職（1,364人）のうち、今後の再就業の意向（再就業意向）をみると、「看護職は考えていない」3.8%、「今後、あるいはしばらく就業の予定はない」6.1%であり、合わせて9.9%とおよそ1割に潜在化（看護の労働市場からの退出）の可能性があると考えられる。また、20歳代で今後の再就業に看護職は考えていないと回答した割合が12.1%に上り、30歳代以降と比べて高い。〔表5〕〔統計表30〕

表5 再就業意向〔年齢別〕

上段：件数、下段：割合

		看護職を 考えている	看護職は 考えていない	今後、あるいは しばらく就業 の予定はない	無回答・不明	計
年齢	20歳代	80	12	7	0	99
		80.8	12.1	7.1	0.0	100.0
	30歳代	403	14	29	4	450
		89.6	3.1	6.4	0.9	100.0
	40歳代	490	16	15	7	528
		92.8	3.0	2.8	1.3	100.0
	50歳代	203	6	12	2	223
		91.0	2.7	5.4	0.9	100.0
	60歳代以上	38	4	20	0	62
		61.3	6.5	32.3	0.0	100.0
	無回答・不明	1	0	0	1	2
		50.0	0.0	0.0	50.0	100.0
	計	1,215	52	83	14	1,364
		89.1	3.8	6.1	1.0	100.0

2. ナースセンターによる就業支援の状況

1) 登録から就業先決定までの期間

(1) 登録から就業先決定までの期間

ナースセンターから現在の就業先を紹介された看護職（2,696人）について、登録から就業先決定までの期間は平均5.4か月である。また、登録後3か月以内に就業先を決定した割合が69.5%を占める。

雇用形態別にみると、就業先決定までの期間の平均は「正規職員（フルタイム勤務）」で4.4か月、「正規職員以外」で6.1か月と正規職員以外が長い。また、「正規職員（フルタイム勤務）」で「13か月以上」が4.2%に対して、「正規職員以外」は7.4%と多い。[表6] [統計表19]

表6 登録から就業先決定までの期間 [雇用形態別]

上段: 件数、下段: 割合

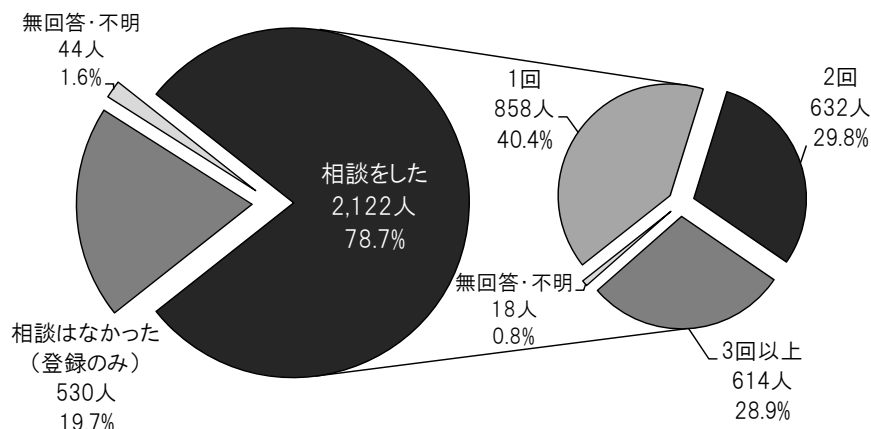
		0か月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月
雇用形態	正規職員 (フルタイム勤務)	96	407	178	114	44	22	58	7	8
		8.9	37.7	16.5	10.6	4.1	2.0	5.4	0.6	0.7
	正規職員 (短時間勤務)	10	31	14	5	2	1	12	2	2
		11.2	34.8	15.7	5.6	2.2	1.1	13.5	2.2	2.2
	正規職員以外	158	478	231	150	72	30	90	21	18
10.4		31.4	15.2	9.8	4.7	2.0	5.9	1.4	1.2	
無回答・不明	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
計	264	916	425	269	118	53	160	30	29	
	9.8	34.0	15.8	10.0	4.4	2.0	5.9	1.1	1.1	
		9か月	10か月	11か月	12か月	13か月以上	無回答・不明	計	平均(月)	
雇用形態	正規職員 (フルタイム勤務)	9	7	3	36	45	46	1,080	4.4	
		0.8	0.6	0.3	3.3	4.2	4.3	100.0		
	正規職員 (短時間勤務)	0	0	0	5	4	1	89	5.0	
		0.0	0.0	0.0	5.6	4.5	1.1	100.0		
	正規職員以外	13	4	6	63	112	77	1,523	6.1	
0.9		0.3	0.4	4.1	7.4	5.1	100.0			
無回答・不明	0	0	0	0	1	0	4	9.0		
	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0			
計	22	11	9	104	162	124	2,696	5.4		
	0.8	0.4	0.3	3.9	6.0	4.6	100.0			

2) 就業相談

(1) 就業相談の有無と回数

登録から就業先決定までの期間に、就業相談をした割合はおよそ8割(78.7%)に上る。また、その回数は平均2.2回であり、2回以上の就業相談をした看護職がおよそ6割(58.7%)を占める。[図1] [統計表20、21]

図1 就業相談の有無と回数



3) 再就業支援研修

(1) 再就業支援研修等に関する案内と受講の有無

ナースセンターから現在の就業先を紹介された看護職(2,696人)のうち、登録から就業先決定までの期間に、再就業支援研修等^{注2)}の案内があった割合は45.4%である。[統計表22]

さらに、再就業支援研修の案内があった看護職(1,223人)のうち、「ナースセンター・看護協会が主催する再就業支援研修」(以下、ナースセンター再就業支援研修)を受講した割合は31.7%であった。他方、「病院・施設が主催する再就業支援研修」「ナースセンター・看護協会が主催する訪問看護に関する教育・養成研修」の受講はそれぞれ7.4%、2.7%である。[表7] [統計表23]

現在の就業先に入職する直前の平均離職期間をナースセンター再就業支援研修の受講の有無別にみると、研修を受講した看護職の離職期間は81.1か月であり、受講しなかった看護職(34.3か月)の2倍以上である。また、60か月以上の離職期間があった看護職では半数を超える53.9%がナースセンター再就業支援研修を受講している。[表8] [統計表24]

さらに、これまでに看護職として勤務した施設数別にみると、施設数が少ない看護職ほど、ナースセンター再就業支援研修を受講した割合が高い。[表9] [統計表24]

注2) 調査票では「再就業(復職)支援研修」と記している。

表7 再就業支援研修等の受講の有無(複数回答)

上段: 件数、下段: 割合

ナースセンター・看護協会が主催する再就業支援研修を受講した	病院・施設が主催する再就業支援研修を受講した	ナースセンター・看護協会が主催する訪問看護に関する教育・養成研修を受講した	その他の研修を受講した(※3)	受講しなかった	無回答・不明	計
388	90	33	13	754	8	1,223
31.7	7.4	2.7	1.1	61.7	0.7	100.0

※3 その他の研修: ナースセンター・看護協会、あるいは病院・施設が主催する再就業支援研修やナースセンター・看護協会が主催する訪問看護に関する研修以外の研修

表 8 ナースセンター再就業支援研修の受講の有無 [離職期間別]

上段:件数、下段:割合

		ナースセンター 再就業支援研修 を受講した	受講しなかった	計
離職期間	離職期間なし	45	196	241
		18.7	81.3	100.0
	3か月未満	17	85	102
		16.7	83.3	100.0
	3か月間以上～6か月未満	21	98	119
		17.6	82.4	100.0
	6か月間以上～12か月未満	41	91	132
		31.1	68.9	100.0
	12か月間以上～24か月未満	27	79	106
		25.5	74.5	100.0
	24か月間以上～36か月未満	20	52	72
		27.8	72.2	100.0
36か月間以上～60か月未満	17	56	73	
	23.3	76.7	100.0	
60か月以上	192	164	356	
	53.9	46.1	100.0	
無回答・不明	8	14	22	
	36.4	63.6	100.0	
計		388	835	1,223
		31.7	68.3	100.0
	平均(月)	81.1	34.3	49.1

表 9 ナースセンター再就業支援研修の受講の有無 [勤務した施設数別]

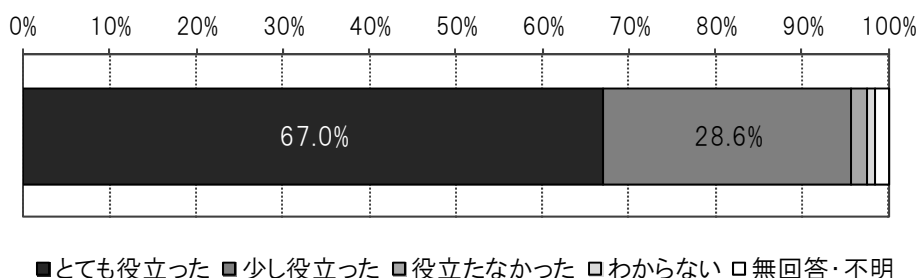
上段:件数、下段:割合

		ナースセンター 再就業支援研修 を受講した	受講しなかった	計
勤務した施設数	1施設	28	32	60
		46.7	53.3	100.0
	2施設	84	135	219
		38.4	61.6	100.0
	3施設	110	186	296
		37.2	62.8	100.0
	4施設	75	155	230
		32.6	67.4	100.0
	5施設	38	135	173
		22.0	78.0	100.0
	6施設以上	45	184	229
		19.7	80.3	100.0

(2) 再就業支援研修に対する評価

ナースセンター再就業支援研修を受講した看護職(388人)の研修に対する評価をみると、「とても役立った」が67.0%、「少し役立った」が28.6%であり、合わせて9割以上(95.6%)の看護職が役立ったと回答している(「役立たなかった」1.8%、「わからない」1.0%)。[図2][統計表25]なお、自由記述では、再就業支援研修が再就業の不安軽減に役立ったという内容が多くみられる。

図2 再就業支援研修に対する評価



(3) 再就業支援研修の受講と離職意向

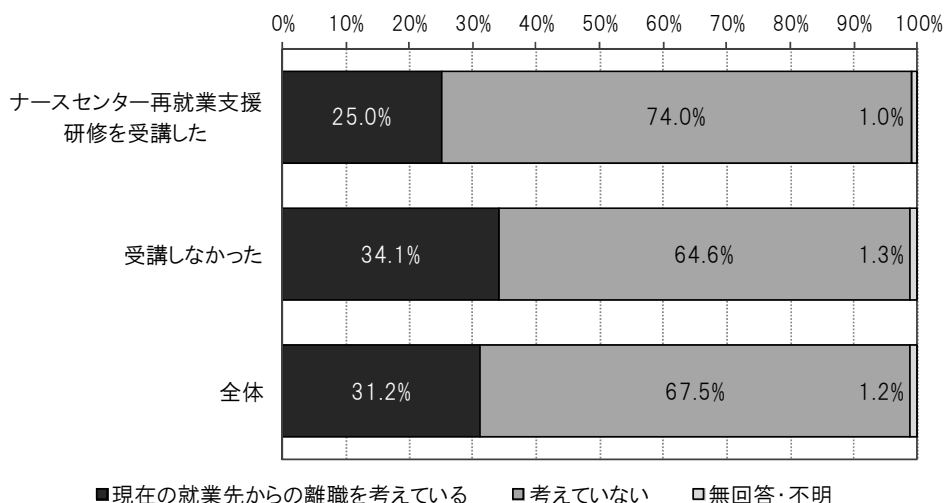
再就業支援研修の案内があった看護職(1,223人)について、ナースセンター再就業支援研修の受講の有無別に離職意向をみると、研修を受講しなかった看護職では現在の就業先からの離職を考えている割合が34.1%に対して、受講した看護職では25.0%と低く、看護職の定着に対するナースセンター再就業支援研修の効果が示唆される。[表10][図3]

表10 離職意向 [ナースセンター再就業支援研修の受講の有無別]

上段:件数、下段:割合

		現在の就業先からの離職を考えている	考えていない	無回答・不明	計
受講の有無	ナースセンター再就業支援研修を受講した	97	287	4	388
		25.0	74.0	1.0	100.0
	受講しなかった	285	539	11	835
		34.1	64.6	1.3	100.0
計		382	826	15	1,223
		31.2	67.5	1.2	100.0

図3 離職意向 [ナースセンター再就業支援研修の受講の有無別]



4) 就業後の悩みや不満の相談

(1) 悩みや不満の有無

ナースセンターを利用して再就業した看護職（4,833人）のうち、現在就業している施設、あるいは看護職として就業していた直近の施設において、「悩みや不満がある（あった）」と回答した割合は69.5%とおよそ7割に上る。雇用形態別で比較すると、「正規職員以外」の64.1%に比べて、「正規職員（フルタイム勤務）」が77.5%と13.4ポイント高い。[表11] [統計表69]

表11 悩みや不満の有無 [雇用形態別]

上段:件数、下段:割合

		悩みや不満がある(あった)	悩みや不満がない(なかった)	無回答・不明	計
雇用形態	正規職員(フルタイム勤務)	1,463	387	37	1,887
		77.5	20.5	2.0	100.0
	正規職員(短時間勤務)	87	47	2	136
		64.0	34.6	1.5	100.0
	正規職員以外	1,765	951	39	2,755
		64.1	34.5	1.4	100.0
無回答・不明	42	10	3	55	
	76.4	18.2	5.5	100.0	
計	3,357	1,395	81	4,833	
	69.5	28.9	1.7	100.0	

(2) 悩みや不満の相談の有無

悩みや不満がある（あった）看護職（3,357人）のうち、ナースセンターに相談をした割合はおよそ1割（9.4%）である。[表12] [統計表70]

相談回数の平均は2.1回、2回以上の相談をした看護職が50.5%と半数を占める。なお、1人あたりの悩みや不満の個数の平均は3.3個である。[統計表71、72]

病院勤務の正規職員（フルタイム勤務）、かつ、交代制勤務に従事している看護職（485人）に限定して、相談の有無別に離職意向をみると、相談しなかった看護職では離職を考えている割合が46.1%に対して、相談した看護職は36.7%と低く、およそ10ポイントの差がみられる。[表13]

表12 悩みや不満の相談の有無 [雇用形態別]

上段:件数、下段:割合

		相談した	相談しなかった	無回答・不明	計
雇用形態	正規職員(フルタイム勤務)	143	1,318	2	1,463
		9.8	90.1	0.1	100.0
	正規職員(短時間勤務)	9	78	0	87
		10.3	89.7	0.0	100.0
	正規職員以外	162	1,597	6	1,765
		9.4	90.3	0.3	100.0
無回答・不明	3	39	0	42	
	7.1	92.9	0.0	100.0	
計	317	3,032	8	3,357	
	9.4	90.3	0.2	100.0	

表 13 悩みや不満の相談の有無と離職意向

(病院勤務・正規職員(フルタイム勤務)・交代制勤務)

上段:件数、下段:割合

		現在の就業先からの 離職を考えている	考えていない	無回答・不明	計
相談の有無	ナースセンターに相談した	18	30	1	49
		36.7	61.2	2.0	100.0
相談しなかった		201	226	9	436
		46.1	51.8	2.1	100.0
計		219	256	10	485
		45.2	52.8	2.1	100.0

(3) 悩みや不満の内容

ナースセンターに就業後の相談をした看護職(317人)について、悩みや不満の内容は「勤務形態」31.5%が最も多く、次いで「雇用形態」24.0%、「職場でのいじめや嫌がらせ」19.2%、「上司との関係」18.9%、「同僚との関係」18.3%、「職場での役割」17.4%、「時間外労働(残業)」17.0%などである。[表14][統計表73]

表 14 悩みや不満の内容〔雇用形態別〕(複数回答)(次頁へ続く)

上段:件数、下段:割合

		雇用形態	勤務形態	配属部署	教育・研修	福利厚生	社会保険	医療安全	労働安全衛生
雇用形態	正規職員 (フルタイム勤務)	38	45	18	21	14	2	7	3
		26.6	31.5	12.6	14.7	9.8	1.4	4.9	2.1
雇用形態	正規職員 (短時間勤務)	1	3	0	0	0	0	3	1
		11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1
雇用形態	正規職員以外	37	52	10	19	11	6	13	9
		22.8	32.1	6.2	11.7	6.8	3.7	8.0	5.6
計		76	100	28	40	25	8	23	13
		24.0	31.5	8.8	12.6	7.9	2.5	7.3	4.1
		時間外労働 (残業)	夜勤・ 夜間対応	年次有給 休暇	昇進・ 昇格	昇給	給与額	手当額	職場での 役割
雇用形態	正規職員 (フルタイム勤務)	35	22	10	6	5	32	10	19
		24.5	15.4	7.0	4.2	3.5	22.4	7.0	13.3
雇用形態	正規職員 (短時間勤務)	1	0	1	1	0	4	1	2
		11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	44.4	11.1	22.2
雇用形態	正規職員以外	18	3	11	0	7	14	3	34
		11.1	1.9	6.8	0.0	4.3	8.6	1.9	21.0
計		54	25	22	7	12	50	14	55
		17.0	7.9	6.9	2.2	3.8	15.8	4.4	17.4

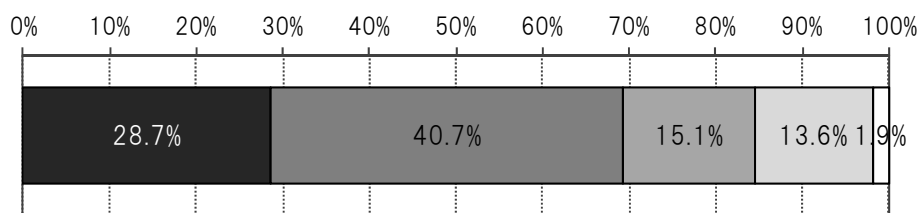
表 14 悩みや不満の内容〔雇用形態別〕（複数回答）（前頁より続き） 上段：件数、下段：割合

		キャリア・アップ	看護ケアにあてる時間	看護実践の能力	看護専門領域	看護技術の向上	医師との関係	上司との関係	同僚との関係
雇用形態	正規職員 （フルタイム勤務）	7	8	14	8	16	12	31	32
		4.9	5.6	9.8	5.6	11.2	8.4	21.7	22.4
	正規職員 （短時間勤務）	0	0	0	1	1	3	4	3
		0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	33.3	44.4	33.3
	正規職員以外	4	4	27	7	15	13	24	23
		2.5	2.5	16.7	4.3	9.3	8.0	14.8	14.2
計	11	12	41	16	32	28	60	58	
	3.5	3.8	12.9	5.0	10.1	8.8	18.9	18.3	
		パワーハラスメント	職場でのいじめや嫌がらせ	患者・ケア対象者からの暴力	自分の健康状態（身体的なもの）	自分の健康状態（精神的なもの）	その他	無回答・不明	計
雇用形態	正規職員 （フルタイム勤務）	17	30	3	10	22	14	0	143
		11.9	21.0	2.1	7.0	15.4	9.8	0.0	100.0
	正規職員 （短時間勤務）	3	1	0	3	2	0	0	9
		33.3	11.1	0.0	33.3	22.2	0.0	0.0	100.0
	正規職員以外	16	29	1	25	16	22	2	162
		9.9	17.9	0.6	15.4	9.9	13.6	1.2	100.0
計	36	61	4	38	40	37	2	317	
	11.4	19.2	1.3	12.0	12.6	11.7	0.6	100.0	

（4）就業後の相談に対する評価

ナースセンターに就業後の悩みや不満の相談をした看護職（317人）の相談に対する評価をみると、「とても役立った」が28.7%、「少し役立った」が40.7%であり、合わせておよそ7割（69.4%）の看護職が役立ったと回答している。（「役立たなかった」15.1%、「わからない」13.6%）。〔図4〕〔統計表74〕

図4 就業後の相談に対する評価



■とても役立った ■少し役立った □役立たなかった □わからない □無回答・不明

3. 入職時の希望と入職後のギャップ

1) 入職時の希望と入職後のギャップ

(1) ギャップの有無と程度

雇用形態、勤務形態、配属部署、教育・研修の充実、福利厚生 of 充実、時間外労働（残業）の時間数、夜勤・夜間対応の有無・回数、年次有給休暇の取得などの労働環境に関する条件について、入職時の希望の有無と入職後の状況のギャップの有無と程度を尋ねた。

現在就業している看護職（4,096人）について、入職時の希望より悪かったと回答した割合が高いのは、「時間外労働」26.0%、「福利厚生 of 充実」23.8%、「年次有給休暇の取得」21.7%、「教育・研修の充実」21.5%である。[表15～22] [統計表31～38]

雇用形態別にみると、正規職員（フルタイム勤務）で「時間外労働（残業）の時間数」37.2%、「年次休暇の取得」35.5%、「福利厚生 of 充実」33.1%が高く、また、正規職員以外では「時間外労働（残業）の時間数」18.1%、「教育・研修の充実」17.5%、「福利厚生 of 充実」17.3%が高い。[表15～22] [統計表31～38]

表15 雇用形態のギャップ [雇用形態別]

上段：件数、下段：割合

		希望あり			希望は なかった	無回答・不明	計
		希望より 良かった	希望の通り だった	希望より 悪かった			
雇用 形態	正規職員 (フルタイム勤務)	86	1,014	310	168	76	1,654
		5.2	61.3	18.7	10.2	4.6	100.0
	正規職員 (短時間勤務)	13	92	15	12	4	136
		9.6	67.6	11.0	8.8	2.9	100.0
	正規職員以外	133	1,554	300	193	103	2,283
		5.8	68.1	13.1	8.5	4.5	100.0
無回答・不明	1	8	4	0	10	23	
	4.3	34.8	17.4	0.0	43.5	100.0	
計	233	2,668	629	373	193	4,096	
	5.7	65.1	15.4	9.1	4.7	100.0	

表16 勤務形態のギャップ [雇用形態別]

上段：件数、下段：割合

		希望あり			希望は なかった	無回答・不明	計
		希望より 良かった	希望の通り だった	希望より 悪かった			
雇用 形態	正規職員 (フルタイム勤務)	60	981	396	149	68	1,654
		3.6	59.3	23.9	9.0	4.1	100.0
	正規職員 (短時間勤務)	8	94	24	5	5	136
		5.9	69.1	17.6	3.7	3.7	100.0
	正規職員以外	178	1,643	290	82	90	2,283
		7.8	72.0	12.7	3.6	3.9	100.0
無回答・不明	0	7	5	1	10	23	
	0.0	30.4	21.7	4.3	43.5	100.0	
計	246	2,725	715	237	173	4,096	
	6.0	66.5	17.5	5.8	4.2	100.0	

表 17 配属部署のギャップ [雇用形態別]

上段: 件数、下段: 割合

		希望あり			希望は なかった	無回答・不明	計
		希望より 良かった	希望の通り だった	希望より 悪かった			
雇用 形態	正規職員 (フルタイム勤務)	81	959	183	352	79	1,654
		4.9	58.0	11.1	21.3	4.8	100.0
	正規職員 (短時間勤務)	8	65	15	42	6	136
		5.9	47.8	11.0	30.9	4.4	100.0
	正規職員以外	133	1,265	173	590	122	2,283
		5.8	55.4	7.6	25.8	5.3	100.0
	無回答・不明	0	6	3	3	11	23
		0.0	26.1	13.0	13.0	47.8	100.0
計	222	2,295	374	987	218	4,096	
	5.4	56.0	9.1	24.1	5.3	100.0	

表 18 教育・研修の充実のギャップ [雇用形態別]

上段: 件数、下段: 割合

		希望あり			希望は なかった	無回答・不明	計
		希望より 良かった	希望の通り だった	希望より 悪かった			
雇用 形態	正規職員 (フルタイム勤務)	146	476	449	505	78	1,654
		8.8	28.8	27.1	30.5	4.7	100.0
	正規職員 (短時間勤務)	14	38	27	50	7	136
		10.3	27.9	19.9	36.8	5.1	100.0
	正規職員以外	184	633	400	930	136	2,283
		8.1	27.7	17.5	40.7	6.0	100.0
	無回答・不明	2	4	4	3	10	23
		8.7	17.4	17.4	13.0	43.5	100.0
計	346	1,151	880	1,488	231	4,096	
	8.4	28.1	21.5	36.3	5.6	100.0	

表 19 福利厚生の実施のギャップ [雇用形態別]

上段: 件数、下段: 割合

		希望あり			希望は なかった	無回答・不明	計
		希望より 良かった	希望の通り だった	希望より 悪かった			
雇用 形態	正規職員 (フルタイム勤務)	134	485	548	408	79	1,654
		8.1	29.3	33.1	24.7	4.8	100.0
	正規職員 (短時間勤務)	9	35	27	57	8	136
		6.6	25.7	19.9	41.9	5.9	100.0
	正規職員以外	123	591	395	1,027	147	2,283
		5.4	25.9	17.3	45.0	6.4	100.0
	無回答・不明	0	5	4	3	11	23
		0.0	21.7	17.4	13.0	47.8	100.0
計	266	1,116	974	1,495	245	4,096	
	6.5	27.2	23.8	36.5	6.0	100.0	

表 20 時間外労働（残業）の時間数のギャップ [雇用形態別]

上段：件数、下段：割合

		希望あり			希望は なかった	無回答・不明	計
		希望より 良かった	希望の通り だった	希望より 悪かった			
雇用 形態	正規職員 (フルタイム勤務)	166	528	615	275	70	1,654
		10.0	31.9	37.2	16.6	4.2	100.0
	正規職員 (短時間勤務)	11	51	26	42	6	136
		8.1	37.5	19.1	30.9	4.4	100.0
	正規職員以外	189	972	414	570	138	2,283
		8.3	42.6	18.1	25.0	6.0	100.0
	無回答・不明	0	2	8	3	10	23
		0.0	8.7	34.8	13.0	43.5	100.0
計	366	1,553	1,063	890	224	4,096	
	8.9	37.9	26.0	21.7	5.5	100.0	

表 21 夜勤・夜間対応の有無・回数のギャップ [雇用形態別]

上段：件数、下段：割合

		希望あり			希望は なかった	無回答・不明	計
		希望より 良かった	希望の通り だった	希望より 悪かった			
雇用 形態	正規職員 (フルタイム勤務)	90	709	296	461	98	1,654
		5.4	42.9	17.9	27.9	5.9	100.0
	正規職員 (短時間勤務)	2	51	6	66	11	136
		1.5	37.5	4.4	48.5	8.1	100.0
	正規職員以外	84	785	45	1,165	204	2,283
		3.7	34.4	2.0	51.0	8.9	100.0
	無回答・不明	0	8	0	5	10	23
		0.0	34.8	0.0	21.7	43.5	100.0
計	176	1,553	347	1,697	323	4,096	
	4.3	37.9	8.5	41.4	7.9	100.0	

表 22 年次有給休暇の取得のギャップ [雇用形態別]

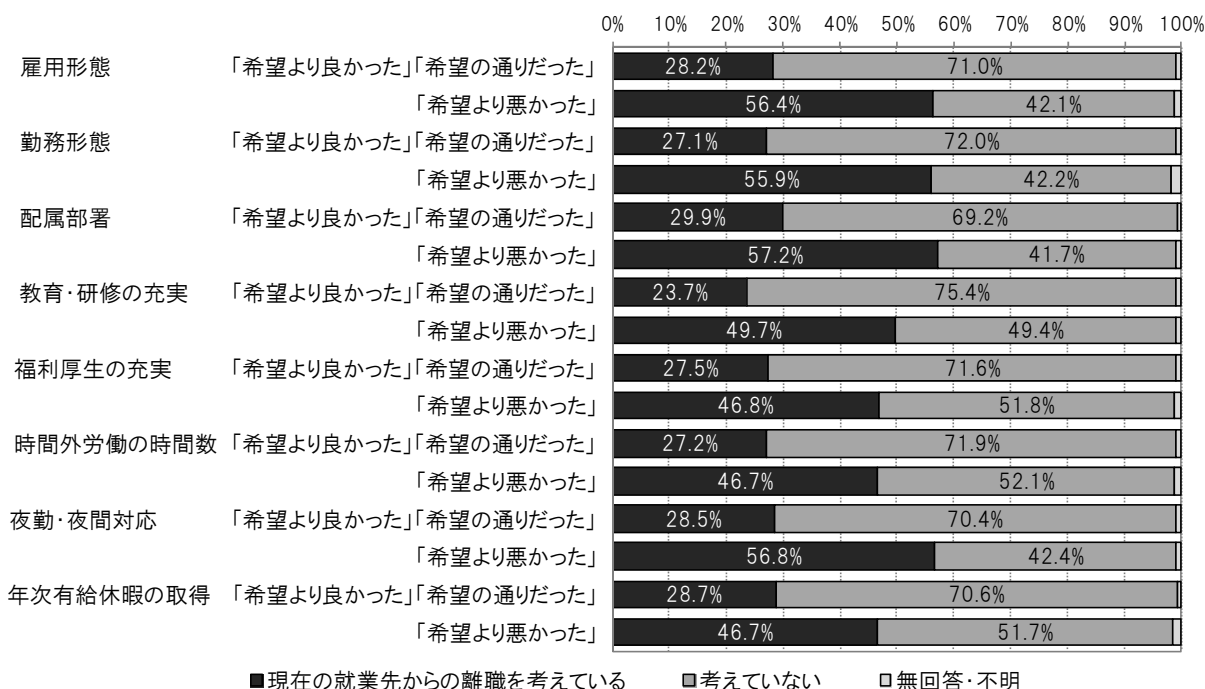
上段：件数、下段：割合

		希望あり			希望は なかった	無回答・不明	計
		希望より 良かった	希望の通り だった	希望より 悪かった			
雇用 形態	正規職員 (フルタイム勤務)	211	513	587	272	71	1,654
		12.8	31.0	35.5	16.4	4.3	100.0
	正規職員 (短時間勤務)	21	31	17	60	7	136
		15.4	22.8	12.5	44.1	5.1	100.0
	正規職員以外	309	662	282	881	149	2,283
		13.5	29.0	12.4	38.6	6.5	100.0
	無回答・不明	1	6	3	3	10	23
		4.3	26.1	13.0	13.0	43.5	100.0
計	542	1,212	889	1,216	237	4,096	
	13.2	29.6	21.7	29.7	5.8	100.0	

(2) ギャップと離職意向

入職時の希望と入職後のギャップに関しては、いずれの条件でも「希望より良かった」、あるいは「希望の通りだった」と回答した看護職と比べて、「希望より悪かった」と回答した看護職に離職を考えている割合が高い。[図5]

図5 ギャップと離職意向



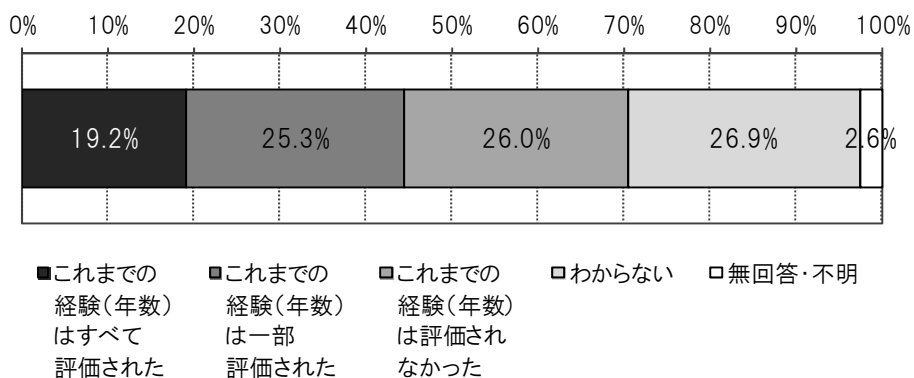
4. 給与

1) 給与

(1) 経験（年数）に対する給与の評価

現在就業している看護職（4,096人）の入職時の経験（年数）に対する給与の評価をみると、「これまでの経験（年数）はすべて評価された」が19.2%と2割以下であり、「一部評価された」25.3%を合わせても44.5%とおよ半数以下にとどまる。一方、「これまでの経験（年数）は評価されなかった」は26.0%、「わからない」と回答した割合も26.9%と高い。[図6] [統計表39]

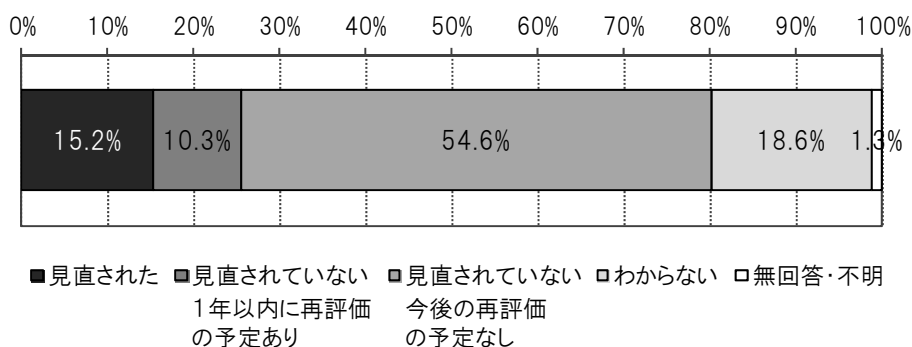
図6 経験（年数）に対する給与の評価



(2) 給与の再評価

これまでの経験年数が「一部評価された」、あるいは「評価されなかった」と回答した看護職(2,103人)のうち、入職後の一定期間内に給与の再評価がなされ、号俸等が「見直された」割合は15.2%であり、「1年以内に再評価の予定あり」10.3%を合わせた25.5%の看護職が再評価されていた。一方、「今後の再評価の予定なし」が54.6%と半数を超えている。[図7][統計表40]

図7 給与の再評価

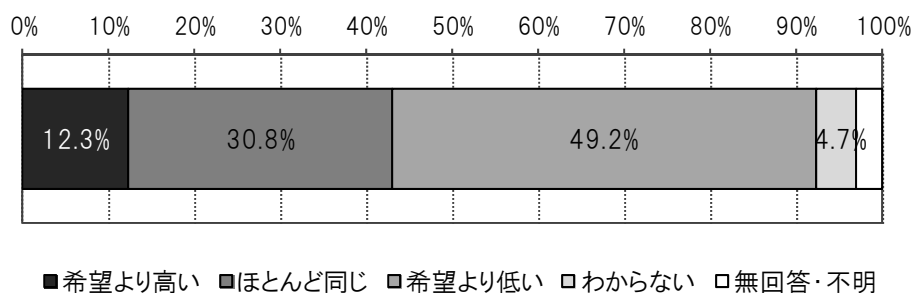


2) 希望給与額との差

(1) 希望給与額との差

現在、正規職員(フルタイム勤務)として就業している看護職(1,654人)について、入職前に希望していた基本給与月額と就業先から提示された基本給与額との差をみると、「希望より高い」12.3%、「ほとんど同じ」30.8%に対して、「希望より低い」は49.2%と半数を占める。[図8][統計表42]

図8 希望給与額との差



5. 就業継続理由と離職理由

1) 現在の就業先で勤務を続けている理由

(1) 現在の就業先で勤務を続けている理由

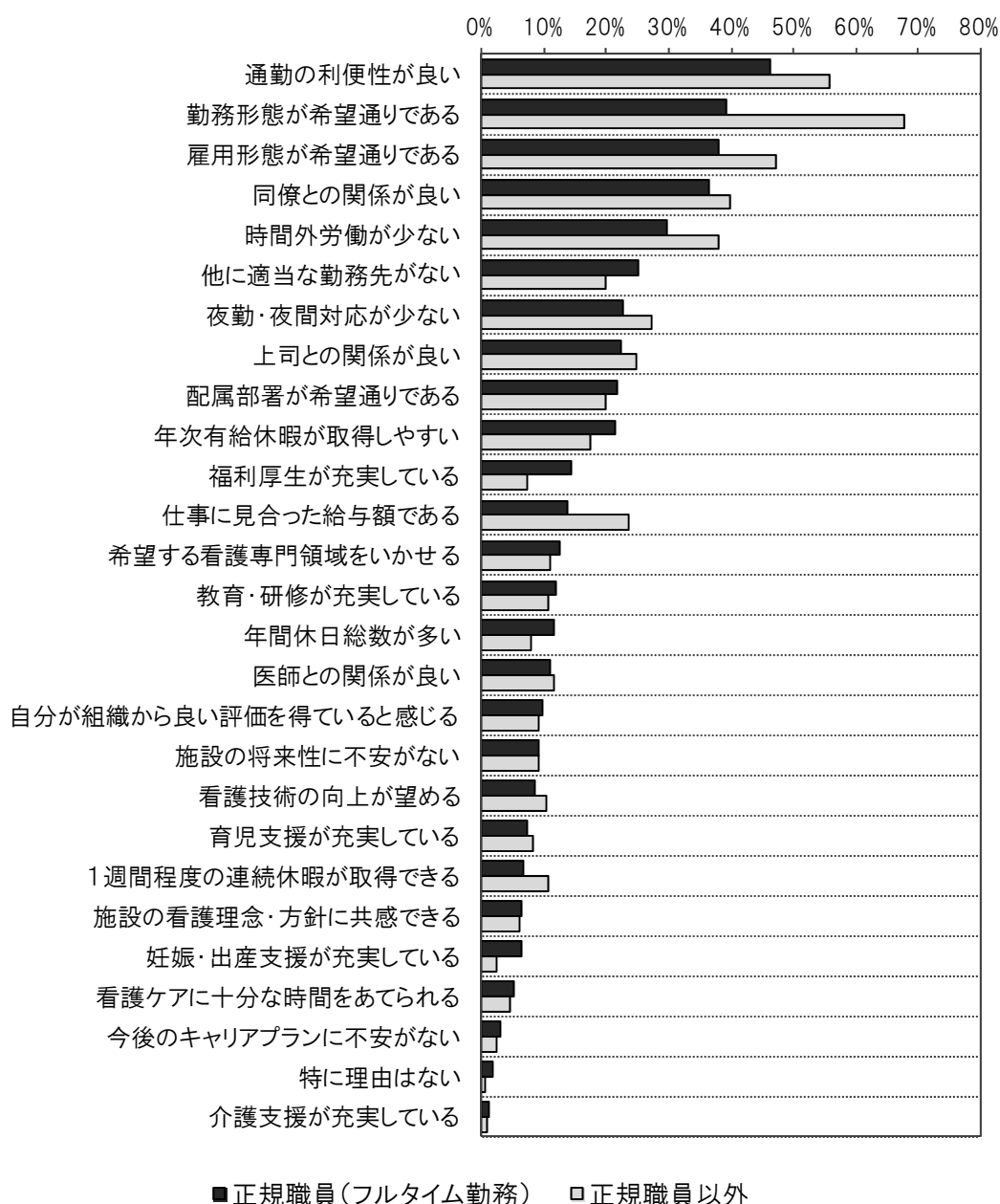
現在、就業している看護職(4,096人)が現在の就業先で勤務を続けている理由は、「勤務形態が希望通りである」56.1%が最も多く、次いで「通勤の利便性が良い」52.0%、「雇用形態が希望通りである」43.6%、「同僚との関係が良い」38.7%、「時間外労働(残業)が少ない(ない)」34.4%などである。

雇用形態別にみると、正規職員(フルタイム勤務)では、「通勤の利便性が良い」46.3%、「勤務形態が希望通りである」39.1%、「雇用形態が希望通りである」38.0%、「同僚との関係が良い」36.5%、「時間外労働が少ない」29.7%などが多い。一方、正規職員以外も全体的に正規職員と

ほぼ同様の傾向となっていたが、「勤務形態が希望通りである」67.8%、「仕事に見合った給与額である」23.5%に正規職員との差がみられる。[図9] [統計表28]

年齢別では、20歳代は他の年代に比べて、「同僚との関係が良い」44.7%、「上司との関係が良い」33.2%を理由に挙げる割合が高い。また、「育児支援が充実している」は20歳代が17.6%、30歳代が14.8%である。[統計表28]

図9 就業継続理由[雇用形態別]（複数回答）



2) 直近の就業先を離職した理由

(1) 直近の就業先を離職した理由

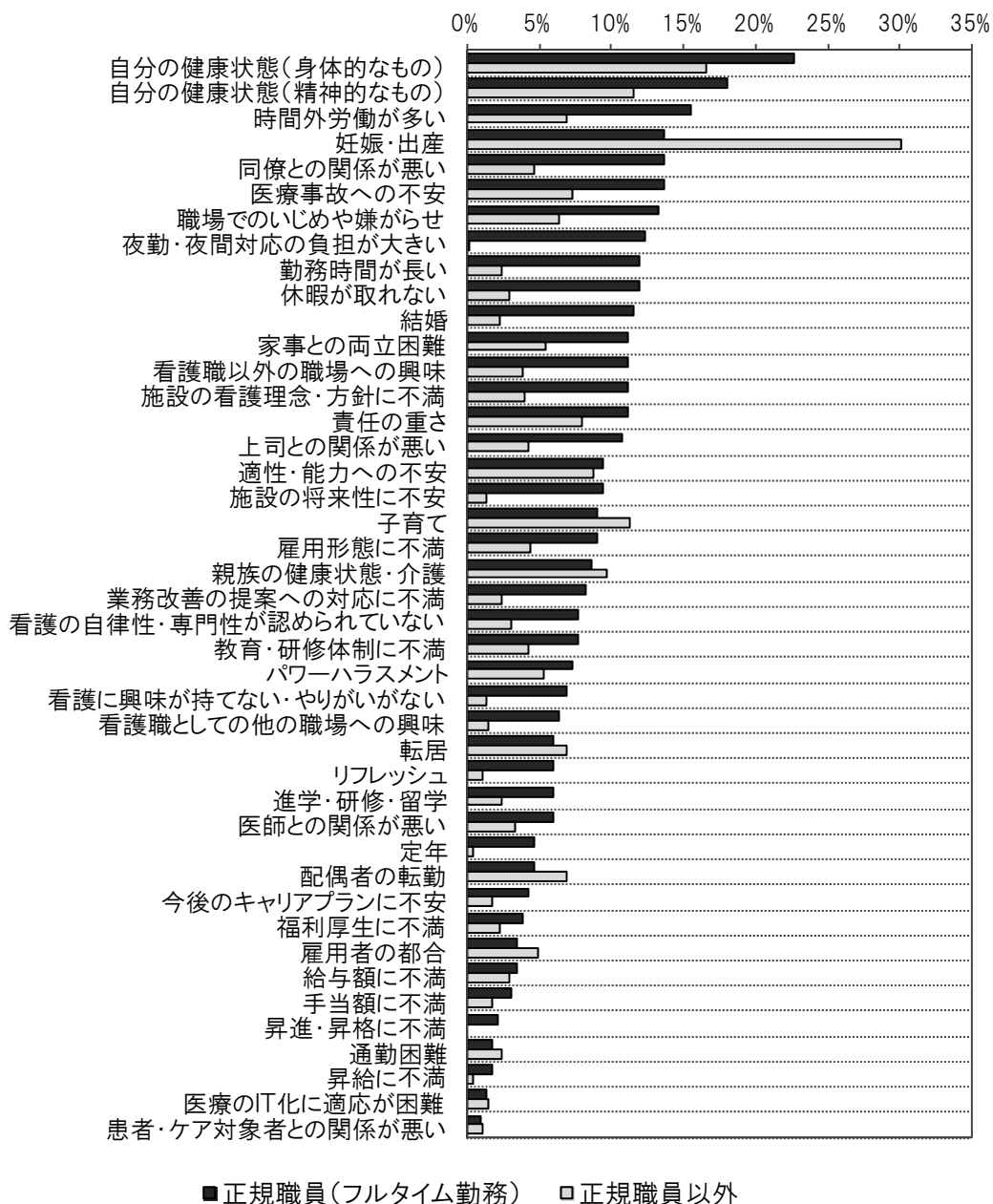
現在、就業していない看護職（727人）が看護職として勤務していた直近の就業先を離職した理由は、「妊娠・出産」24.2%が最も多く、次いで「自分の健康状態（身体的なもの）」18.3%、

「自分の健康状態（精神的なもの）」13.3%、「子育て」10.3%、「時間外労働（残業）が多い」9.6%などである。

雇用形態別にみると、正規職員（フルタイム勤務）では「自分の健康状態（身体的なもの）」22.7%、「自分の健康状態（精神的なもの）」18.0%、「時間外労働（残業）が多い」15.5%、「妊娠・出産」13.7%、「同僚との関係が悪い」13.7%などが多い。一方、正規職員以外ではこれらと類似の傾向はみられず、「妊娠・出産」30.1%が突出している。[図10] [統計表57]

年齢別では、「妊娠・出産」は20歳代が46.4%、30歳代が45.9%であった。また、「親族の健康状態・介護」は50歳代が22.4%であった。[統計表57]

図10 離職理由[雇用形態別]（複数回答）



6. ナースセンター、ハローワーク、有料職業紹介事業者の比較

1) 職業紹介サービスの利用状況

(1) 求職状況

ナースセンターを利用して再就業した看護職（4,833人）のうち、現在の求職状況について、「求職していない」57.2%、「看護職で求職している」30.7%、「看護職以外で求職している」2.0%である。〔統計表10〕

(2) 求人施設の紹介を相談している機関や業者等

求職している看護職（1,484人）のうち、「ナースセンター」を利用している割合69.9%に対して、「ハローワーク」「人材サービス会社（有料職業紹介事業者・労働者派遣事業者）」はそれぞれ37.7%、21.4%である。〔統計表11〕

2) 就業相談におけるナースセンターの評価

(1) ナースセンターに対する評価

ナースセンターの就業相談で良いと思われる点として評価された項目は、「登録している求人施設が多い」46.1%、「施設について知りたい情報が提供される」37.9%などである。また、「看護協会が運営している」44.8%、「無料職業紹介事業者である」40.2%、「相談員が看護職である」36.9%も高く評価されている。〔表23〕〔統計表68〕

表23 ナースセンターに対する評価（複数回答）

上段：件数、下段：割合

登録している求人施設が多い	相談可能日が多い・時間が長い	休日に相談可能である	施設について知りたい情報が提供される	希望に合う施設が紹介される	確実に紹介される	成約までが早い	成約する割合が高い	入職した後も継続的に支援される	相談員の対応がきめ細かい
2,227	494	150	1,830	1,238	869	892	510	298	1,189
46.1	10.2	3.1	37.9	25.6	18.0	18.5	10.6	6.2	24.6
施設との交渉力が高い	施設への見学、面接に同行してくれる	相談員が看護職である	上司の勧め	友人・知人の勧め	看護協会が運営している	無料職業紹介事業者である	その他	無回答・不明	計
891	80	1,783	37	197	2,166	1,941	164	200	4,833
18.4	1.7	36.9	0.8	4.1	44.8	40.2	3.4	4.1	100.0

3) ハローワークの利用経験と評価

(1) ハローワークの利用経験と評価

これまでにハローワークの紹介による就業経験があると回答した割合は34.2%である。

ハローワークの就業相談で良いと思われる点として評価された項目は、「登録している求人施設数が多い」51.2%、「施設について知りたい情報が提供される」30.4%などである。なお、「雇用保険の失業給付等が受けられる」も35.1%と高い評価を得ている。〔表24〕〔統計表76〕

表24 ハローワークに対する評価（複数回答）

上段：件数、下段：割合

登録している求人施設数が多い	相談可能日が多い・時間が長い	休日に相談可能である	施設について知りたい情報が提供される	希望に合う施設が紹介される	確実に紹介される	成約までが早い
847	165	70	503	378	437	283
51.2	10.0	4.2	30.4	22.9	26.4	17.1
成約する割合が高い	入職した後も継続的に支援される	相談員の対応がきめ細かい	雇用保険の失業給付等が受けられる	その他	無回答・不明	計
162	42	278	581	106	64	1,653
9.8	2.5	16.8	35.1	6.4	3.9	100.0

4) 有料職業紹介事業者の利用経験と評価

(1) 有料職業紹介事業者の利用経験と評価

これまでに有料職業紹介事業者の紹介による就業経験があると回答した割合は7.4%である。

有料職業紹介事業者の就業相談で良いと思われる点として評価された項目は、「施設への見学、面接に同行してくれる」45.9%、「希望に合う施設が紹介される」39.2%、「施設について知りたい情報が提供される」38.9%、「施設との交渉力が高い」36.7%、「相談員の対応がきめ細かい」33.6%などである。なお、「祝金・支度金等がある」は12.3%である。[表25][統計表78]

表25 有料職業紹介事業者に対する評価(複数回答)

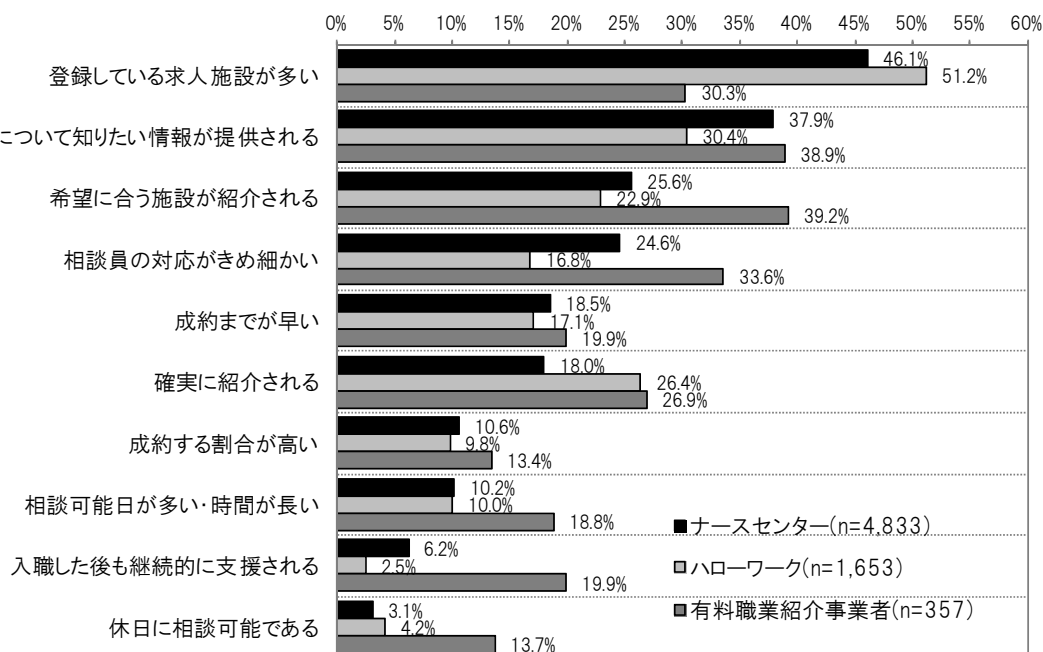
上段:件数、下段:割合

登録している求人施設数が多い	相談可能日が多い・時間が長い	休日に相談可能である	施設について知りたい情報が提供される	希望に合う施設が紹介される	確実に紹介される	成約までが早い	成約する割合が高い	入職した後も継続的に支援される
108	67	49	139	140	96	71	48	71
30.3	18.8	13.7	38.9	39.2	26.9	19.9	13.4	19.9
相談員の対応がきめ細かい	施設との交渉力が高い	施設への見学、面接に同行してくれる	相談員が看護職である	祝金・支度金等がある	その他	無回答・不明	計	
120	131	164	7	44	20	18	357	
33.6	36.7	45.9	2.0	12.3	5.6	5.0	100.0	

5) ナースセンターの課題

ナースセンターに対する評価が有料職業紹介事業者と比べて低い項目は、「希望に合う施設が紹介される」「相談員の対応がきめ細かい」「確実に紹介される」「相談可能日が多い・時間が長い」「入職した後も継続的に支援される」「休日に相談可能である」などであり、特に「入職した後も継続的に支援される」「休日に相談可能である」には大きな差がある。[図11][統計表68、76、78]

図11 ナースセンター、ハローワーク、有料職業紹介事業者に対する評価の比較(複数回答)



ナースセンターの持つ情報量やナースセンターに対する安心感や信頼度にかかわる項目が高い評価である一方、就業後の継続的な支援が課題として見出された。

就業後の相談に対して、「相談することで精神的な負担が軽くなった」「相談することによる安心感が得られた」「気持ちの整理ができた」などの自由記述が得られており、精神面での支援が評価されていることから、ナースセンターには就業後の相談機能の充実が求められる。

さらに、公的職業紹介機関であるナースセンターとハローワークの両方を利用した経験を持つ看護職はおよそ3割であり、双方の強みである全国的なネットワークと情報量を活かした地域での連携・協働が期待されるとともに、「医療分野の「雇用の質」向上プロジェクトチーム報告」（平成25年2月、厚生労働省）で示されたように、ナースセンター就業相談員の体制の強化、研修機能、相談機能の充実が求められる。